

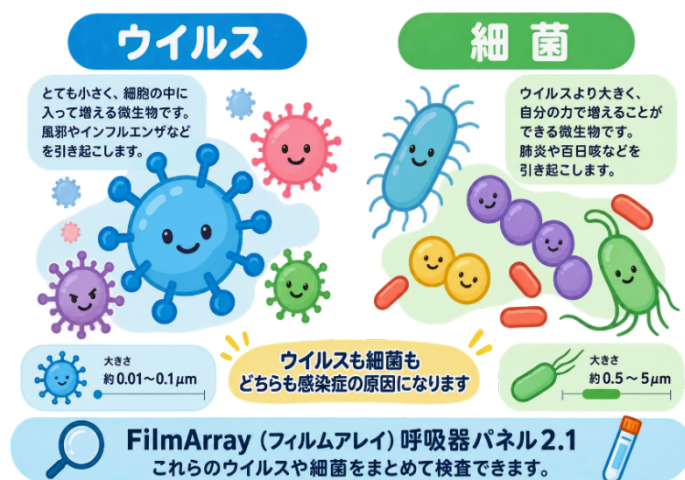
FilmArray（フィルムアレイ）呼吸器パネル 2.1 のご紹介

臨床検査技師 横山 和弘

咳、発熱、鼻水、のどの痛みなどの症状は、さまざまなウイルス感染や細菌感染によって起こります。FilmArray（フィルムアレイ）呼吸器パネル 2.1 は、1 回の検体採取で、インフルエンザや新型コロナウイルス、RS ウイルスなどの呼吸器感染症の原因となるウイルス(18 種)や細菌(4 種)を同時に調べる検査です。2026 年 7 月から院内で検査可能となりましたのでご紹介いたします。

どんな検査？

鼻の奥から「鼻咽頭ぬぐい液」を採取して検査します。採取した検体を専用の検査カートリッジに入れると、機械が自動的に検査を行います。検査時間は約 45 分です。そのため、原因となる病原体を早く知ることができ、治療や感染対策を考える際の参考になります。



何が分かるの？

FilmArray 呼吸器パネル 2.1 では、例えば次のような病原体を調べることができます。

ウイルス

- 新型コロナウイルス
- インフルエンザ A・B
- RS ウイルス
- アデノウイルス
- ヒトメタニューモウイルス
- ライノウイルス／エンテロウイルス
- パラインフルエンザウイルス など

細菌

- 百日咳菌
- 肺炎マイコプラズマ
- 肺炎クラミジア
- パラ百日咳菌

検査結果について

「陽性」となった場合、その病原体の遺伝子が検出されたことを示します。一方、「陰性」であっても、すべての感染症を否定できるわけではありません。検査結果は、症状や診察結果などと合わせて、医師が総合的に診断します。

検査について分からないことや不安なことがありましたら、遠慮なく医師・看護師にお尋ねください。